

公表

令和6年度 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センターしんぼんまち「あゆみ」		公表日	2025年3月10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		お子さんにとってゆとりのある空間づくりに配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		基準配置を超えての職員数の配置をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		お子さんが“見て分かる”を一番に考えながら生活や活動場面の環境設定や伝え方の工夫をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		園舎内の清掃・消毒は毎日定期的に行っています。生活や活動場面に応じた環境設定をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		生活のクラス以外にもお子さんの状態に応じて個別で過ごせる場所を作っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		チームとしての取り組みを意識しており、必要に応じて参加する職員を選別しながら会議を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		評価表でのご意見を受けて業務改善に向けた見直しをしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		日頃から意見を出しやすい職場環境を意識するとともに現場支援の様子を見ながら声をかけています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10		定期的に外部のスーパーバイザーを招いてケース会を行い、アドバイスをもらっています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		職員それぞれに必要な研修を受ける機会を作っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		作成、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		ポータル早期教育プログラムを活用してお子さんそれぞれの発達段階を把握し、将来に向けて“今”必要な支援についてご家族と共有しながら具体的な個別支援計画の作成をしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		支援計画作成時には児童発達支援管理責任者とクラス職員とで支援会をし、お子さんにとって必要な支援について協議しています。	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		ご家族との面談時の情報や支援計画の内容について職員間で共有し、支援計画に沿って日々の支援が行われているか確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		気になることがあればすぐに職員間で共有し、必要な情報収集をしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		児童発達支援ガイドラインに沿った支援計画の作成をしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		各クラスからの意見をもとに定期的にリーダー会を行い、活動プログラムの組み立てや調整をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		季節に応じた内容や発達段階に合わせた取り組みを工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		個別と集団それぞれの発達段階を意識した支援計画の作成をし、活動プログラムに取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		朝の会で必要な情報を共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		夕の会でその日の様子を報告し、情報を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		支援計画に基づいて記録をとり、支援の検証をしながら見直しが必要なことはすぐに改善できるように取り組んでいます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		定期的に見直しをしながら支援計画の作成をしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童発達支援管理責任者が参加しています。可能であれば各クラスの担当職員も一緒に参加し、情報の共有をしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		必要に応じて連携をとっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		お子さんの発達段階に応じて保育園や幼稚園等との併行利用や移行に向けてご家族と相談し、スムーズな移行を目指しています。移行時は引継ぎシートを作成してご家族に渡し、可能であれば支援会等への参加をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		引継ぎシートを作成してご家族にお渡し、可能であれば支援会等への参加をしています。	

関係機関や保護者との連携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10			積極的な取組はまだできておらず、今後どのように連携を図っていくか検討する予定です。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10			定期的に外部のスーパーバイザーを招いてケース会を行い、アドバイスをもらっています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10			児童発達支援管理責任者検討会に検討委員として参加しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	4		地域の行事に参加し、他の保育園等の子どもの様子を見る機会を作っています。	保育園や幼稚園と「あゆみ」の併行通園をしているお子さんが多く、「あゆみ」として他の保育園や幼稚園と一緒に活動する機会はありません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			連絡帳や送迎時にその日のお子さんの様子を伝えあい、共通理解を持てるよう努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10			年間計画に沿って勉強会の機会を作り、ご家族の皆さんにご案内しています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			契約時にできる限りわかりやすく説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			お子さんの発達に合わせた支援のねらいを丁寧に説明し、保護者の同意を得たうえで支援計画の作成をしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			お子さんの発達に合わせた支援のねらいを丁寧に説明し、保護者の同意を得たうえで支援計画の作成をしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			ご家族からの相談にはできるだけ迅速に対応しています。また、ご家族の様子を見ながら必要に応じて「あゆみ」からも声をおかけしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10			今年度も保護者参観および懇親会を実施しました。『パパ会』も開催し、少しずつ参加される父親が増えています。来年度は親子行事の開催も計画しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			できるだけ迅速かつ適切に対応するようにしています。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			月1回『あゆみだより(広報誌)』の発行を行い、お子さんたちの様子や毎月の取り組みについてお知らせしています。		

保護者への説明等	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報について十分に配慮しながら取扱いをしています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		お子さんやご家族それぞれに合わせた伝え方を心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		地域でのイベント(ハロウィン)に年長のお子さんを中心に参加し、後日お礼の手紙を持って子どもたちと挨拶に伺いました。また、ほおちよけん学習を開催し、外部の方を招いて子どもたちとともに楽しみながら勉強する機会を作っています。 今年度は地域のボランティアの皆さんをお招きしてクリスマス会を行い、子どもたちも大喜びでした。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		マニュアルの整備をし、毎月の訓練の実施をしています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		月1回、地震・火災・風水害を想定した避難訓練をしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		事前に確認し、必要なお子さんについてはより詳しい聞き取りをしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		医師の指示書に基づいた対応をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全計画を作成し、計画に沿った訓練や研修をしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			十分な周知はまだできていません。掲示等で周知の工夫をしていこうと考えています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		定期的に会議を開催し、事業所内での共有や必要な手立てについて話し合っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		定期的に虐待に関する研修等をし、虐待防止の意識づくりをしています。また、虐待につながるような関わりをしていないか自身や周りの支援を振り返る機会を作っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		契約時に身体拘束や虐待についての児童発達支援センターしんぼんまち「あゆみ」の姿勢を説明しています。現在のところ身体拘束を行わなければならない状況になるおさんはいません。		